レーザー/CCD デュアルエンジン搭載

1次元バーコードスキャナー

Bi-2000

詳細設定マニュアル

Ver 1.0

改定履歴

Ver	発行日	改定履歴
1.0	2016/08/17	初版発行 FW:FM3-a-2.02.plus-FKS

目次

1. 同梱品 7
・1.1　同梱品 7
・1.2　ケーブルの取り外し/取り付け 7
・1.3　別売りオプション 7
2. システム設定 8
・2.1　初期化 8
・2.2　ファームウェアーバージョン表示 8
3. 基本設定 8
・3.1　インターフェイス設定 8
・3.2　CCD 色の設定 8
・3.3　CCD 色のサイクル設定 8
・3.4　スキャンモード設定 9
・3.5　物体検知モード　専用スタンド設置時のみ有効 9
・3.6　物体検知モード　オフ時間設定（初期値：3 秒） 9
・3.7　物体検知モード　同一バーコードの読取り不可時間設定（初期値：30 秒） 10
・3.8　読取りビープ音の設定 10
・3.9　バイブレーターの設定 10
4. キーボード設定 11
・4.1　キーボード言語 11
・4.2　Caps Lock 11
・4.3　テンキーパッドデータ送信の設定 11
・4.4　文字間遅延 11
5. バーコード読取り設定 12
・5.1　全てのバーコードの読取り設定 12
・5.2　改行コード設定 12
・5.3　コード ID 送信設定 12
・5.4　バーコードデータの桁数送信設定 13
・5.5　白黒反転バーコードの読取り 13
6. Code39 の設定 14
・6.1　Code39 読取り 14
・6.2　Code39 チェックデジット 14
・6.3　Code39 スタート/ストップコード 14
・6.4　Code39 フォーマット 14

7.Code93 の設定 14
・7.1　Code93 読取り 14
8.Code128 の設定 15
・8.1　Code128 読取り 15
9.GS1-128 の設定 15
・9.1　GS1-128 読取り 15
・9.2　]C1 コード送信 15
・9.3　FNC1 送信設定 15
10.UPC-A の設定 16
・10.1　UPC-A 読取り 16
・10.2　UPC-A チェックデジット 16
・10.3　先頭の 1 桁　NS(ナンバーシステムキャラクタ) 送信設定 16
・10.4　UPC-A を JAN-13 に変換 16
・10.5　アドオンコード読取り 17
・10.6　アドオンコード送信 17
・10.7　アドオンコード　セパレートキャラクタ（スペース）挿入 17
11.UPC-E の設定 18
・11.1　UPC-E 読取り 18
・11.2　UPC-E チェックデジット 18
・11.3　先頭の 1 桁　NS(ナンバーシステムキャラクタ) 送信設定 18
・11.4　UPC-E を UPC-A に変換 18
・11.5　UPC-E(0)/UPC-E(1) 読取り 18
・11.6　アドオンコード読取り 19
・11.7　アドオンコード送信 19
・11.8　アドオンコード　セパレートキャラクタ（スペース）挿入 19
12.JAN-13 の設定 20
・12.1　JAN-13 読取り 20
・12.2　JAN-13 チェックデジット 20
・12.3　ISBN 読取り 20
・12.4　アドオンコード読取り 21
・12.5　アドオンコード送信 21
・12.6　アドオンコード　セパレートキャラクタ（スペース）挿入 21

13. JAN-8 の設定 22
・13.1　JAN-8 読取り 22
・13.2　JAN-8 チェックデジット 22
・13.3　アドオンコード読取り 22
・13.4　アドオンコード送信 22
・13.5　アドオンコード　セパレートキャラクタ（スペース）挿入 22
14. Codabar/NW-7 の設定 23
・14.1　Codabar/NW-7 読取り 23
・14.2　Codabar/NW-7 チェックデジット 23
・14.3　Codabar/NW-7 スタート/ストップコード 23
・14.4　Codabar/NW-7 スタート/ストップコード形式 23
15. Interleaved 2 of 5（ITF）の設定 24
・15.1　Interleaved 2 of 5 読取り 24
・15.2　Interleaved 2 of 5 チェックデジット 24
16. Industrial 2 of 5 の設定 24
・16.1　Industrial 2 of 5 読取り 24
・16.2　Interleaved 2 of 5 チェックデジット 24
17. Matrix 2 of 5 の設定 25
・17.1　Matrix 2 of 5 読取り 25
・17.2　Matrix 2 of 5 チェックデジット 25
18. Code11 の設定 25
・18.1　Code11 読取り 25
・18.2　Code11 チェックデジット 25
・18.3　Code11 チェックデジット 1 桁/2 桁　選択 25
19. MSI の設定 26
・19.1　MSI 読取り 26
・19.2　MSI チェックデジット 26
・19.3　MSI チェックデジット 送信 26
20. UK PLESSEY CODE の設定 26
・20.1　UK PLESSEY 読取り 26
・20.2　UK PLESSEY チェックデジット 26
21. IATA の設定 27
・21.1　IATA 読取り 27
・21.2　IATA チェックデジット 27

22.Code32 の設定 27
・22.1　Code32 読取り 27
・22.2　先頭文字「A」の送信設定 27
・22.3　末尾データの送信設定 27
23.GS1 Data Bar (RSS)の設定 28
・23.1　GS1 Data Bar 読取り 28
・23.2　GS1 Data Bar チェックデジット 28
・23.3　GS1 Data Bar アプリケーション ID 28
・23.4　GS1 Data Bar Stacked 読取り 28
24.GS1 Data Bar (RSS) Limited の設定 29
・24.1　GS1 Data Bar Limited 読取り 29
・24.2　GS1 Data Bar Limited チェックデジット 29
・24.3　GS1 Data Bar Limited　アプリケーション ID 29
25.GS1 Data Bar (RSS) Expanded の設定 29
・25.1　GS1 Data Bar Expanded 読取り 29
・25.2　GS1 Data Bar Expanded Stacked 読取り 29
26.最小読取桁数/最大読取桁数の設定 30
27.先頭/末尾に文字を付加する 31
・Full ASCII Table（制御コード） 32
・Full ASCII Table（記号） 33
・Full ASCII Table（アルファベット　大文字） 34
・Full ASCII Table（アルファベット　小文字） 35
・Full ASCII Table（数字/ファンクションキー） 36
・Full ASCII Table（拡張キー） 37

1. 同梱品

・1.1　同梱品

製品箱には以下のものが入っています。

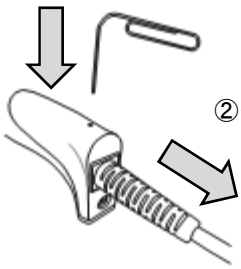
不足や破損がございましたら弊社までご連絡下さい。

スキャナー本体	簡易設定マニュアル	製品保証書

・1.2　ケーブルの取り外し/取り付け

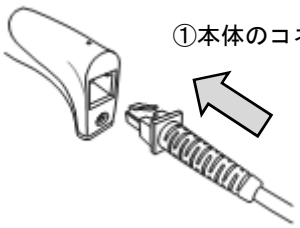
・ケーブルの取外し

①ケーブル付け根の小さな穴に、クリップ・ピン等を挿し込みます。



②クリップ・ピンを挿し込んだままケーブルを引っ張ります。

・ケーブルの取付け



①本体のコネクターにケーブルを「カチッ」と音が鳴るまで挿し込みます。

・1.3　別売りオプション

専用スタンド（HOL-Bi）

2. システム設定

・2.1　初期化

※インターフェイス設定は初期化をしても「USB-HID」に戻りません。

初期化

.A001$

・2.2　ファームウェアーバージョン表示

バージョン情報

.A007$

3. 基本設定

・3.1　インターフェイス設定

USB-HID

.C008$

USB-COM

.C006$

※USB-COM に設定する場合は、USB-COM ドライバーのインストールが必要です。
USB-COM ドライバーは、弊社ホームページからダウンロードをしてご使用ください。
PC の機種によっては、正常に動作しないことがございます。

・3.2　CCD 色の設定

赤 + 緑

.D031$

緑

.D032$

赤

.D033$

・3.3　CCD 色のサイクル設定

緑　→　赤

.D027$

赤　→　緑

.D028$

緑　→　緑 + 赤

.D029$

赤　→　緑 + 赤

.D030$

・3.4　スキャンモード設定

トリガーモード　　：トリガーを押下している間オン　読込完了でオフ
連続モード　　：通電と同時に常にオン（トリガーを使用しない）
連続モード/時間制限　：通電と同時にオン　60 秒間バーコードが検出されないとオフ
トグルモード　　：トリガー1 回押下で常にオン　読込完了でオフ
物体検知モード　　：物体を検知するとオン　3 秒(初期値)間、物体が検知されないと自動でオフ

トリガーモード

.F002$

連続モード

.F005$

連続モード/時間制限

.F006$

トグルモード

.F003$

物体検知モード

.F010$

・3.5　物体検知モード　専用スタンド設置時のみ有効

※スキャンモード設定が「物体検知モード」時の設定です。
有効：専用スタンド(HOL-Bi)に設置した時にのみ物体検知モードが有効になります。
　　専用スタンド(HOL-Bi)に設置していない時はトリガーモードです。
無効：専用スタンド(HOL-Bi)に設置している時、していない時共に物体検知モードになります。

有効

.F034$

無効

.F035$

・3.6　物体検知モード　オフ時間設定（初期値：3 秒）

※スキャンモード設定が「物体検知モード」時の設定です。
　物体が検知されずオフになるまでの時間を設定します。
手順：「時間設定開始」→「数字バーコード」→「時間設定完了」の順にスキャンします。

時間設定開始

.F030$

時間設定完了

.F030$

数字バーコード(設定範囲：01～30 秒)　例）5 秒の場合「0」「5」

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9		

・3.7　物体検知モード　同一バーコードの読取り不可時間設定(初期値:30秒)

※スキャンモード設定が「物体検知モード」時の設定です。
同一バーコードの読取りを行わない時間を設定します。
物体を検知している間は光が出ていますが、設定した時間内は同一バーコードの読取りは行いません。
設定した時間が経過すると、光が消えます。
光が消えた後は、同一バーコードを検知すると読取りを行います。

手順:「時間設定開始」→「数字バーコード」→「時間設定完了」の順にスキャンします。

時間設定開始

.F031$

時間設定完了

.F031$

数字バーコード(設定範囲：03～60秒)　例）10秒の場合「1」「0」

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9		

・3.8　読取りビープ音の設定

なし

.F012$

中

.F019$

大

.F018$

小

.F022$

・3.9　バイブレーターの設定

有効

.D034$

無効

.D035$

4. キーボード設定

・4.1　キーボード言語

日本語

.C009$

英語

.C010$

・4.2　Caps Lock

Bi-2000 の設定	接続端末のキーボードの設定	バーコードデータ	出力データ
自動	Caps Lock ON	ABCDEFG_abcdefg	ABCDEFG_abcdefg
	Caps Lock OFF		ABCDEFG_abcdefg
オフ	Caps Lock ON		abcdefg_ABCDEFG
	Caps Lock OFF		ABCDEFG_abcdefg
オン	Caps Lock ON		ABCDEFG_abcdefg
	Caps Lock OFF		abcdefg_ABCDEFG

自動

.A006$

オフ

.A005$

オン

.A004$

・4.3　テンキーパッドデータ送信の設定

※有効：テンキーパッドデータとして出力します。
　　ホストのキーボードの「Num Lock」をオフにして使用します。
　無効：通常のデータとして出力します。

有効

.D017$

無効

.D018$

・4.4　文字間遅延

※出力データが正しくない場合や欠落する場合は、長めに設定してみてください。

140 マイクロ秒

.B010$

500 マイクロ秒

.B011$

1 ミリ秒

.B012$

4 ミリ秒

.B013$

16 ミリ秒

.B014$

5.バーコード読取り設定

・5.1　全てのバーコードの読取り設定

※「全バーコード読取り無効」に設定しても、本マニュアルの設定バーコードの読取りはできます。

全バーコード読取り有効

.A002$

全バーコード読取り無効

.A003$

・5.2　改行コード設定

※USB-COM 時　初期値：CR+LF

CR+LF

.D013$

CR

.D012$

なし

.D010$

LF

.D011$

スペース

.D015$

TAB

.D014$

・5.3　コード ID 送信設定

送信する　：バーコードデータの先頭にコード ID を付加して出力します。
送信しない：バーコードデータのみ出力します。

送信する

.A008$

送信しない

.A009$

ｺｰﾄﾞ ID	バーコード種	ｺｰﾄﾞ ID	バーコード種
A	UPC-A	B	Code32
E	UPC-E	Y	Matrix 2 of 5
S	JAN-8	N	Codabar/NW-7
F	JAN-13	L	Code 93
M	スタンダード Code39	J	Code 11
D	フルアスキーCode39	R	IATA
K	Code128	O	MSI
T	GS1-128	G	GS1 Data bar
I	Interleaved 2 of 5	C	GS1 Data bar Limited
V	Industrial 2 of 5	Q	GS1 Data bar Expanded

・5.4　バーコードデータの桁数送信設定

送信する　：バーコードデータの桁数をバーコードデータの先頭に付加(2byte)して出力します。
送信しない：バーコードデータのみ出力します。

送信する

.D019$

送信しない

.D020$

・5.5　白黒反転バーコードの読取り

有効

.D022$

無効

.D021$

6.Code39 の設定

・6.1　Code39 読取り

無効

.G009$

有効

.G008$

・6.2　Code39 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

.G003$

計算する+送信する

.G004$

計算する+送信しない

.G005$

・6.3　Code39 スタート/ストップコード

送信しない

.G015$

送信する

.G014$

・6.4　Code39 フォーマット

標準

.G002$

Full ASCII

.G001$

Full ASCII Table (P.32～)

7.Code93 の設定

※チェックデジットがないバーコードの読取りはできません。

・7.1　Code93 読取り

無効

.G011$

有効

.G010$

8.Code128 の設定

・8.1　Code128 読取り

無効

.J011$

有効

.J010$

9.GS1-128 の設定

・9.1　GS1-128 読取り

無効

.M002$

有効

.M001$

・9.2　]C1 コード送信

有効：バーコードデータの先頭に「]C1」を付加して出力します。
無効：バーコードデータのみ出力します。

無効

.M004$

有効

.M003$

・9.3　FNC1 送信設定

送信しない：バーコードデータ内の FNC1<GS>を送信しません。
送信する　：バーコードデータ内の FNC1<GS>を送信します。

送信しない

.M006$

送信する

.M005$

10.UPC-A の設定

・10.1　UPC-A 読取り

無効

.H002$

<u>有効</u>

.H001$

・10.2　UPC-A チェックデジット

送信しない

.H006$

<u>送信する</u>

.H005$

・10.3　先頭の 1 桁　NS(ナンバーシステムキャラクタ) 送信設定

送信しない

.H004$

<u>送信する</u>

.H003$

・10.4　UPC-A を JAN-13 に変換

有効：UPC-A のデータ(12 桁)の先頭に「0」を付加し JAN-13 のデータ(13 桁)を出力します。
無効：UPC-A のデータ(12 桁)をそのまま出力します。

<u>無効</u>

.H067$

有効

.H068$

・10.5　アドオンコード読取り

必須　　：アドオンコード送信で 2 桁送信する/5 桁送信するを設定した場合
　　それぞれのアドオンコードがない UPC-A の読取りは行いません。
自動識別：アドオンコードの有無に関わらず UPC-A の読取りを行います。

必須

.H060$

自動識別

.H059$

・10.6　アドオンコード送信

5 桁　送信する

.H033$

5 桁　送信しない

.H034$

2 桁　送信する

.H035$

2 桁　送信しない

.H036$

・10.7　アドオンコード　セパレートキャラクタ（スペース）挿入

※UPC-A とアドオンコードの間にスペースを挿入する設定です。

挿入する

.H045$

挿入しない

.H046$

11.UPC-E の設定

・11.1　UPC-E 読取り

無効

.H008$

有効

.H007$

・11.2　UPC-E チェックデジット

送信しない

.H012$

送信する

.H011$

・11.3　先頭の 1 桁　NS(ナンバーシステムキャラクタ) 送信設定

送信しない

.H010$

送信する

.H009$

・11.4　UPC-E を UPC-A に変換

有効：UPC-E のデータ(8 桁)を UPC-A のデータ(12 桁)に変換し出力します。
無効：UPC-E のデータ(8 桁)をそのまま出力します。

無効

.H054$

有効

.H053$

・11.5　UPC-E(0)/UPC-E(1) 読取り

E(0)無効：先頭「0」の UPC-E バーコードの読取りを行いません。
E(0)有効：先頭「0」の UPC-E バーコードの読取りを行います。
E(1)無効：先頭「1」の UPC-E バーコードの読取りを行いません。
E(1)有効：先頭「1」の UPC-E バーコードの読取りを行います。

E(0) 無効

.H064$

E(0) 有効

.H063$

E(1) 無効

.H066$

E(1) 有効

.H065$

・11.6　アドオンコード読取り

必須　　：アドオンコード送信で 2 桁送信する/5 桁送信するを設定した場合
　　それぞれのアドオンコードがない UPC-E の読取りは行いません。
自動識別：アドオンコードの有無に関わらず UPC-E の読取りを行います。

必須

.H056$

自動識別

.H055$

・11.7　アドオンコード送信

5 桁　送信する

.H037$

5 桁　送信しない

.H038$

2 桁　送信する

.H039$

2 桁　送信しない

.H040$

・11.8　アドオンコード　セパレートキャラクタ（スペース）挿入

※UPC-E とアドオンコードの間にスペースを挿入する設定です。

挿入する

.H047$

挿入しない

.H048$

12. JAN-13 の設定

・12.1　JAN-13 読取り

無効

.H014$

<u>有効</u>

.H013$

・12.2　JAN-13 チェックデジット

送信しない

.H018$

<u>送信する</u>

.H017$

・12.3　ISBN 読取り

「978」出力しない

.H049$

<u>「978」出力する</u>

.H050$

・12.4　アドオンコード読取り

必須　　：アドオンコード送信で 2 桁送信する/5 桁送信するを設定した場合
　　それぞれのアドオンコードがない JAN-13 の読取りは行いません。
自動識別：アドオンコードの有無に関わらず JAN-13 の読取りを行います。

必須

.H058$

自動識別

.H057$

・12.5　アドオンコード送信

5 桁　送信する

.H025$

5 桁　送信しない

.H026$

2 桁　送信する

.H027$

2 桁　送信しない

.H028$

・12.6　アドオンコード　セパレートキャラクタ（スペース）挿入

※JAN-13 とアドオンコードの間にスペースを挿入する設定です。

挿入する

.H041$

挿入しない

.H042$

13. JAN-8 の設定

・13.1　JAN-8 読取り

無効

.H020$

有効

.H019$

・13.2　JAN-8 チェックデジット

送信しない

.H024$

送信する

.H023$

・13.3　アドオンコード読取り

必須　　：アドオンコード送信で 2 桁送信する/5 桁送信するを設定した場合
　　それぞれのアドオンコードがない JAN-8 の読取りは行いません。
自動識別：アドオンコードの有無に関わらず JAN-8 の読取りを行います。

必須

.H062$

自動識別

.H061$

・13.4　アドオンコード送信

5 桁　送信する

.H029$

5 桁　送信しない

.H030$

2 桁　送信する

.H031$

2 桁　送信しない

.H032$

・13.5　アドオンコード　セパレートキャラクタ（スペース）挿入

※JAN-8 とアドオンコードの間にスペースを挿入する設定です。

挿入する

.H043$

挿入しない

.H044$

14.Codabar/NW-7 の設定

・14.1　Codabar/NW-7 読取り

無効

有効

・14.2　Codabar/NW-7 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

計算する+送信する

計算する+送信しない

・14.3　Codabar/NW-7 スタート/ストップコード

送信しない

送信する

・14.4　Codabar/NW-7 スタート/ストップコード形式

ABCD/ABCD

abcd/abcd

ABCD/TN*E

abcd/tn*e

15. Interleaved 2 of 5（ITF）の設定

・15.1　Interleaved 2 of 5 読取り

無効

.J002$

有効

.J001$

・15.2　Interleaved 2 of 5 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

.J003$

計算する+送信する

.J004$

計算する+送信しない

.J005$

16. Industrial 2 of 5 の設定

・16.1　Industrial 2 of 5 読取り

無効

.N002$

有効

.N001$

・16.2　Interleaved 2 of 5 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

.N003$

計算する+送信する

.N004$

計算する+送信しない

.N005$

17.Matrix 2 of 5 の設定

・17.1　Matrix 2 of 5 読取り

無効

有効

・17.2　Matrix 2 of 5 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

計算する+送信する

計算する+送信しない

18.Code11 の設定

・18.1　Code11 読取り

無効

有効

・18.2　Code11 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

計算する+送信する

計算する+送信しない

・18.3　Code11 チェックデジット 1桁/2桁　選択

2桁

1桁

19.MSI の設定

※チェックデジットがないバーコードの読取りはできません。

・19.1　MSI 読取り

無効

.L002$

有効

.L001$

・19.2　MSI チェックデジット

Mod10

.L009$

Mod10/10

.L007$

Mod11/10

.L008$

・19.3　MSI チェックデジット 送信

送信しない

.L003$

送信する

.L003$

20.UK PLESSEY CODE の設定

※チェックデジットがないバーコードの読取りはできません。

・20.1　UK PLESSEY 読取り

無効

.L011$

有効

.L010$

・20.2　UK PLESSEY チェックデジット

計算する+送信する

.L012$

計算する+送信しない

.L013$

21. IATA の設定

・21.1　IATA 読取り

無効

.N018$

有効

.N017$

・21.2　IATA チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

.N019$

計算する+送信する

.N020$

計算する+送信しない

.N021$

22. Code32 の設定

※チェックデジットがないバーコードの読取りはできません。

・22.1　Code32 読取り

無効

.K011$

有効

.K010$

・22.2　先頭文字「A」の送信設定

送信する

.K012$

送信しない

.K013$

・22.3　末尾データの送信設定

送信する

.K014$

送信しない

.K015$

23.GS1 Data Bar (RSS)の設定

・*23.1　GS1 Data Bar 読取り*

無効

.N033$

有効

.N032$

・*23.2　GS1 Data Bar チェックデジット*

送信する

.N034$

送信しない

.N035$

・*23.3　GS1 Data Bar アプリケーション ID*

送信する

.N036$

送信しない

.N037$

・*23.4　GS1 Data Bar Stacked 読取り*

無効

.N039$

有効

.N038$

24.GS1 Data Bar (RSS) Limitedの設定

・24.1　GS1 Data Bar Limited 読取り

無効

.N011$

有効

.N010$

・24.2　GS1 Data Bar Limited チェックデジット

送信する

.N012$

送信しない

.N013$

・24.3　GS1 Data Bar Limited　アプリケーション ID

送信する

.N024$

送信しない

.N025$

25.GS1 Data Bar (RSS) Expandedの設定

※GS1 Data Bar Expanded は、アプリケーション ID を付加して送信します。
　付加しない設定はありません。

・25.1　GS1 Data Bar Expanded 読取り

無効

.N027$

有効

.N026$

・25.2　GS1 Data Bar Expanded Stacked 読取り

無効

.N029$

有効

.N028$

26.最小読取桁数/最大読取桁数の設定

手順：1.「最小読取桁数/最大読取桁数設定バーコード」の表から設定したい項目のバーコードをスキャン
2. 数字バーコード 2 桁をスキャン　　例）3 桁：「0」「3」
3. 1.でスキャンしたバーコードをスキャン

※設定を途中で中止したい時は、「設定中止」バーコードをスキャンして下さい。

設定中止

.P023$

●最小読取桁数 / 最大読取桁数　設定バーコード

バーコード種	最小読取桁数	最大読取桁数
Code39	.G006$ 初期値：1	.G007$ 初期値：48
Code93	.G012$ 初期値：6	.G013$ 初期値：48
Code128	.J012$ 初期値：5	.J013$ 初期値：48
Codabar/NW-7	.I008$ 初期値：6	.I009$ 初期値：48
Interleaved 2 of 5 (ITF)	.J006$ 初期値：6	.J007$ 初期値：48
Industrial 2 of 5	.N006$ 初期値：6	.N007$ 初期値：48
Matrix 2 of 5	.M015$ 初期値：6	.M016$ 初期値：48
Code11	.I015$ 初期値：6	.I016$ 初期値：32
MSI	.L005$ 初期値：6	.L006$ 初期値：48
IATA	.N022$ 初期値：6	.N023$ 初期値：48
GS1 Data Bar Expanded	.N030$ 初期値：1	.N031$ 初期値：74

●数字バーコード

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9		

27. 先頭/末尾に文字を付加する

手順：①～④の順に設定バーコードをスキャンします。
※最大 16 文字まで設定可能です。
※設定を途中で中止したい時は、「設定中止」バーコードをスキャンして下さい。

設定中止

.P023$

①設定を一度初期化します。

・「設定初期化」バーコードをスキャンします。

設定初期化

.A011$

②どちらかを選択してスキャンします。

先頭に文字を付加	末尾に文字を付加
.A012$	.A013$

③付加する文字を　Full ASCII Table（P.32）から選択してスキャンします。

注意：Full ASCII Table のバーコードをスキャンする時、設定したいバーコードの
左右のバーコードを完全に隠してからスキャンして下さい。
誤って、隣のバーコードをスキャンしてしまうことがあります。

④どちらかを選択してスキャンします。

先頭に文字を付加する設定　完了	末尾に文字を付加する設定　完了
.A012$	.A013$

・Full ASCII Table（制御コード）

NUL %U	SOH $A	STX $B
ETX $C	EOT $D	ENQ $E
ACK $F	BEL $G	BS $H
HT $I	LF $J	VT $K
FF $L	CR $M	SO $N
SI $O	DLE $P	DC1 $Q
DC2 $R	DC3 $S	DC4 $T
NAK $U	SYN $V	ETB $W
CAN $X	EM $Y	SUB $Z
ESC %A	FS %B	GS %C
RS %D	US %E	Space

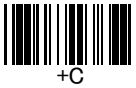
・Full ASCII Table（記号）

+ +	- −	. .
$ $	% %	/ /
¥ %L	! /A	@ %V
# /C	^ %N	~ %S
& /F	* /J	_ %O
= %H	| %Q	{ %P
} %R	[%K	] %M
(/H	) /I	< %G
> %I	` %W	“ /B
‘ /G	, /L	; %F
: /Z	? %J	DEL %T

・Full ASCII Table（アルファベット　大文字）

A A	B B	C C
D D	E E	F F
G G	H H	I I
J J	K K	L L
M M	N N	O O
P P	Q Q	R R
S S	T T	U U
V V	W W	X X
Y Y	Z Z	

・Full ASCII Table（アルファベット　小文字）

a +A	b +B	c  +C
d +D	e +E	f +F
g +G	h +H	i +I
j +J	k +K	l +L
m +M	n +N	o +O
p +P	q +Q	r +R
s +S	t +T	u +U
v +V	w +W	x +X
y +Y	z +Z	

・Full ASCII Table（数字/ファンクションキー）

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9		
F1	F2	F3
F4	F5	F6
F7	F8	F9
F10	F11	F12
Home	End	Enter(Num)
App(右クリック)		

・Full ASCII Table（拡張キー）

Right $TO	Left $TP	Up $TQ
Down $TR	Page Up $TS	Page Down $TT
Tab $TU	Back Tab $TV	Esc $TA
Enter $TX	BS $TY	Ins $TZ
Del $T%K		
Alt(Left) make $T%L		Alt(Left) break $T%M
Alt(Right) make $T+E		Alt(Right)break $T+F
Shift(Left) make $T%N		Shift(Left)break $T%O
Shift(Right) make $T+I		Shift(Right) bake $T+J
Ctrl(Left) make $T%W		Ctrl(Left) break $T+A
Ctrl(Right) make $T+G		Ctrl(Right) break $T+H